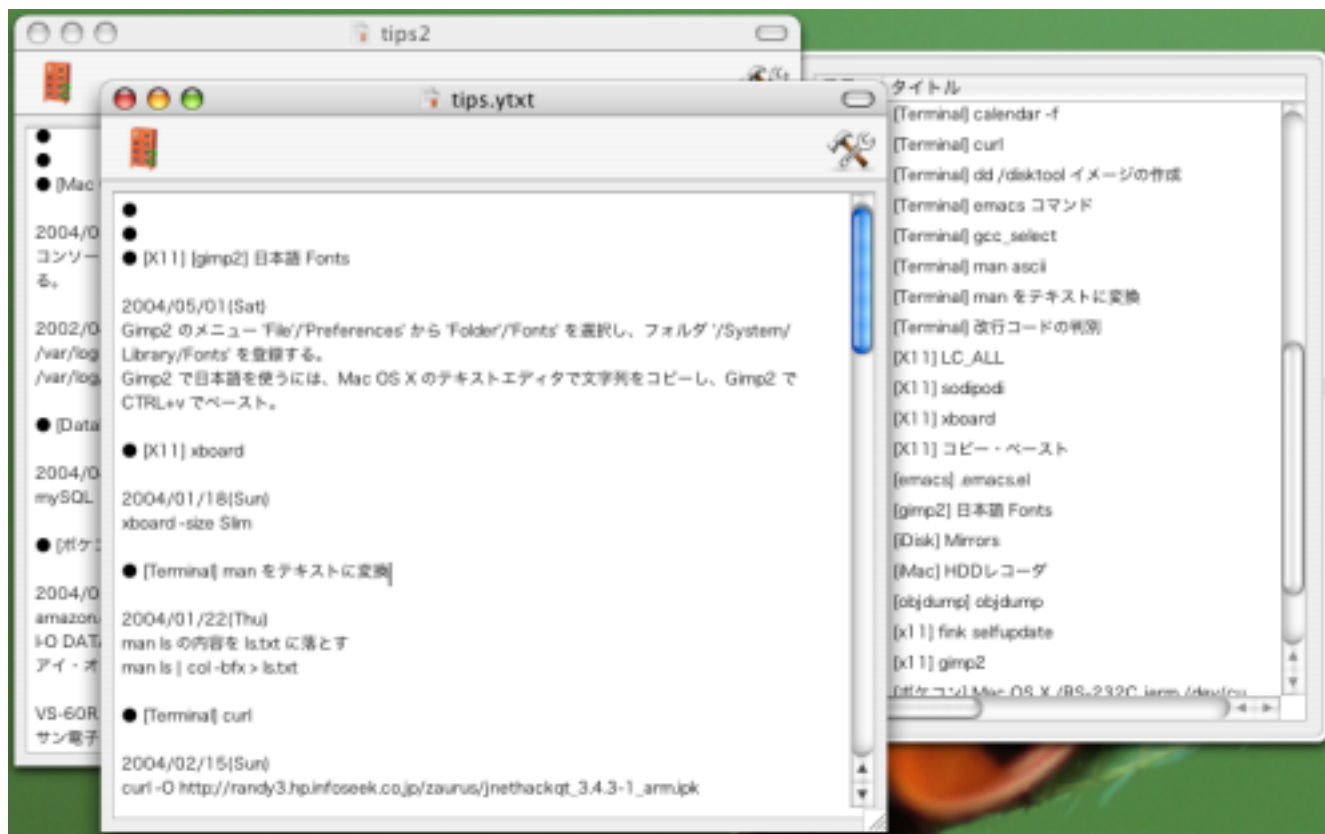


//-----//

## IndexView2 version 0.1

//-----//



### 【説明】

ファイル(\*1)の '●' で始まる行をインデックスとしてドローに表示し、クリックすると選択された文字列で検索します。  
Finder で表示された IndexView2 アイコンにファイルをドロップすることで開くことができ、複数のファイルも扱うことができます。

(\*1)

IndexView2 では 以前の IndexView とは違いファイルの保存・編集ができます。プログラmaticにかなり無茶なことをやっています。動作が鈍くなったりした場合は、他のテキストエディタ mi など編集・保存し、表示する時だけ、使用してください。

### 【インストール】

IndexView2.zip を展開して作られる IndexView2 フォルダを 'ホーム/Applications' に移動してください。  
( 'ホーム' フォルダに 'Applications' フォルダがない場合は、新規に作成してください。 )  
一度、ログアウトし直し、再度ログインすると IndexView2 書類 tips.ytxt のアイコンが表示されるはずです。  
これでインストール終了です。

## 【アンインストール】

'ホーム/Applications' の 'IndexView2' フォルダ、  
(中に含まれるすべてのファイル)  
'ホーム/ライブラリ/Preferences' フォルダの jp.koyama.IndexView2.plist  
を削除してください。

## 【使い方】

ツールバーの IndexView2 アイコンをクリックするとインデックスをドロワーで表示します。  
表示されたドロワーの中から、文字列をクリックするとテキストの中を検索します。  
ファイルが編集中でもリアルタイムにインデックスを変更します。  
(文字が入力されたり、削除されるたびにインデックスを作り直しています。)

### メニュー

'IndexView2'/'環境設定...'

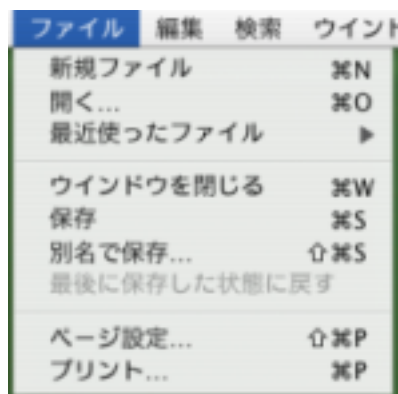


IndexView2 アイコンをダブルクリックした場合は、tips.ytxt を表示するようになっていますが、'起動した後に tips.ytxt を表示' のチェックを外すと起動時にファイルを表示しません。

### ファイルエンコーディング

読み込まれるファイルや保存するファイルのエンコーディングを指定します。  
ファイルエンコーディングを変更すると変更する前のファイルは、ただしく表示されません。あらかじめファイルのエンコーディングを変更して保存しておいてください。(他のエディタを使うと良いでしょう。)

## 'ファイル'



新規ファイルを作成したり、保存することができます。印刷はおまけです。

保存した場合、拡張子が ytxt になり、IndexView2 の書類アイコンに変わります。

保存したファイルを Finder で選択し、右クリック(またはCTRL+左クリック)メニュー/ '情報を見る' を選択するとわかりますが、'このアプリケーションで開く' が IndexView2 になっていると思います。

Finder で保存したファイルをダブルクリックするだけで、IndexView2 が起動します。

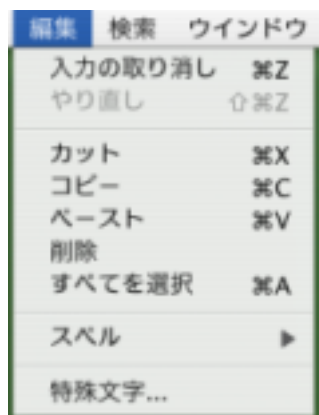
拡張子が ytxt となっていますが、中身は普通のテキストです。

他のエディタ( mi、KEdit、Jedit )などで利用できます。

(テキストエディットでは文字コードによっては開かない場合もあります。)

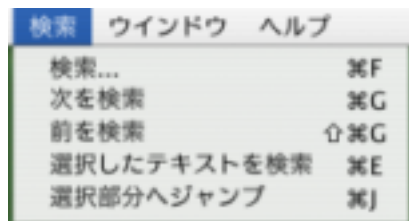
Finder 上で IndexView2 アイコンをダブルクリックして起動した場合、tips.ytxt ファイルを表示しますが、(環境設定で '起動した後に tips.ytxt を表示' にチェック入っている状態です。) tips.ytxt に編集を加えて保存しようとしてもメニュー '保存' が使えないと思います。その時はウィンドウを閉じると、保存するかダイアログで要求されるので、そこで保存を選んでください。

## '編集'



文字の編集やコピーができます。

## '検索'



文字の検索・置換ができます。検索機能が使えない場合はテキストの中をクリックしてフォーカスを移動させてください。  
この機能はあらかじめ用意された機能を使っています。私がプログラムしたわけではありません。  
(そうはとってもほとんどの機能があらかじめ用意されたものですが！)

## 【著作権】

フリーウェア、含まれているソースの著作権は私に。変更して公開する場合は、私にメールを下さい。

## 【保証】

無保証。このソフトを使用することで生じたいかなる損害も、作者は責任を負いません。

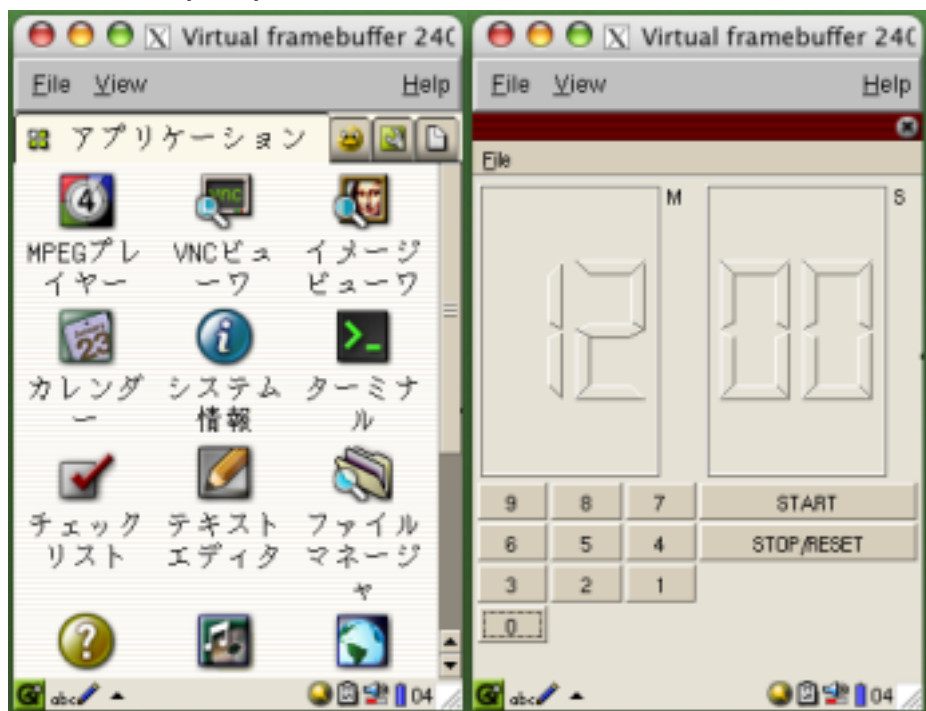
## 【動作環境】

動作確認は、Mac OS X バージョン 10.3.3 ビルド 7F44 でおこなっています。

- (void)setUsesFindPanel:(BOOL)flag を使用しているため、Mac OS X v10.3 以上でないとうまく動作しません。

## 【独り言】

2004/05/04(Tue)



Linux Zaurus 用のアプリを Mac OS X 上で作ってみました。簡単そうなものということで、YKKitchenTimer を移植してみました。Linux Zaurus 版 KitchenTimer は音が鳴らないので役に立たないのですが！

#### 参考資料

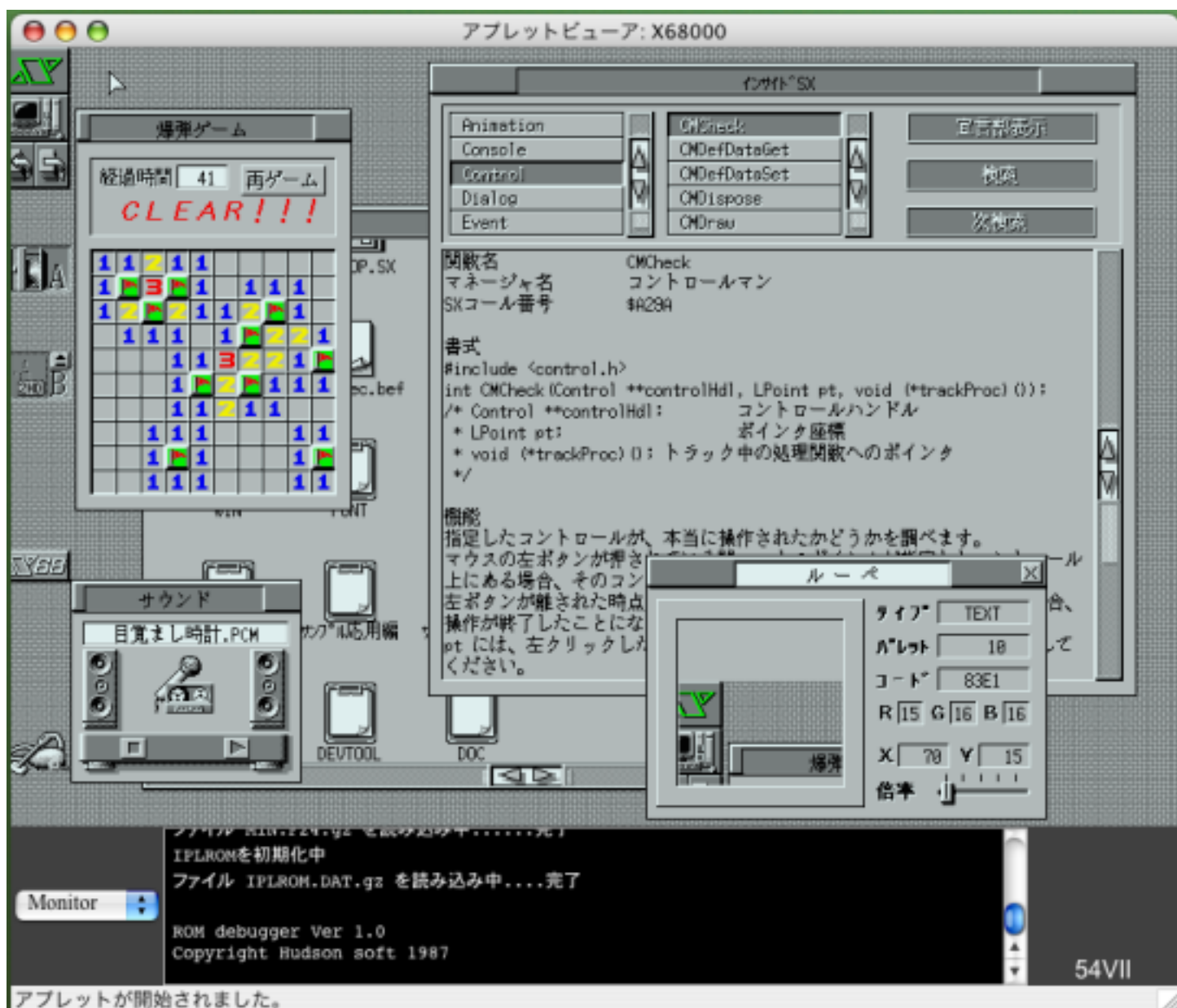
Mac OS X cross compiler [ [http://www.lucid-cake.net/osx\\_arm/index\\_en.html](http://www.lucid-cake.net/osx_arm/index_en.html) ]

Mac OS X tools for Qtopia [ [http://www.lucid-cake.net/osx\\_qpe/index\\_en.html](http://www.lucid-cake.net/osx_qpe/index_en.html) ]

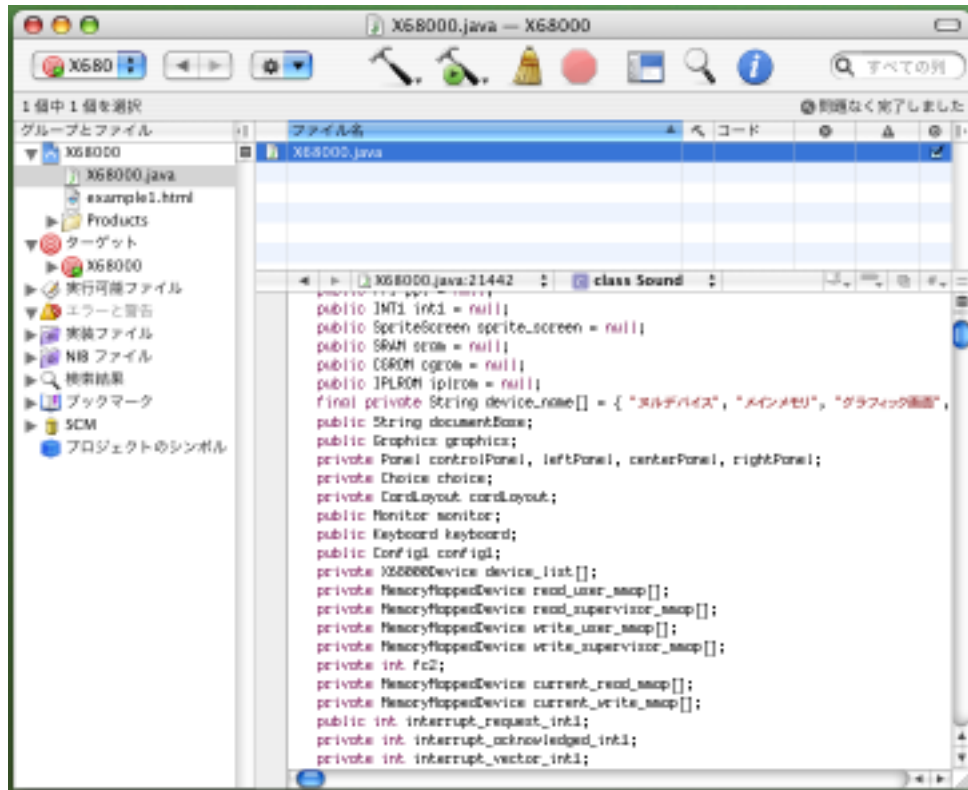
Qtopia and mac OS X [ [http://www.lucid-cake.net/osx\\_qpe\\_tutorial/index\\_en.html](http://www.lucid-cake.net/osx_qpe_tutorial/index_en.html) ]

## 2004/05/09(Sun)

X68000 Emulator in Java [ [http://homepage2.nifty.com/m\\_kamada/java/x68000/index.htm](http://homepage2.nifty.com/m_kamada/java/x68000/index.htm) ] のソースコードと必要なファイルをダウンロードして Xcode でビルドしてみました。問題なくビルドに成功し、アプレットビューアで実行できました。どうしても SX-Windows を試してみたく、X68000 Emulator for Macintosh [ <http://www22.ocn.ne.jp/~non/x68/> ] で新規にハードディスクのイメージを作成し（結構、はまりました。）、SX-WINDOW のサンプルをコンパイルして（コンパイル環境を作るのにも苦労しました。後、サンプルを少し修正する必要が生じました。）、環境を整えました。そのイメージを X68000 Emulator in Java で実行したのが下図です。



私は以前 X68000 PRO II-HD を所有していました。SX-WINDOW でフリーウェアを作ったりしました。残念ながら開発したフリーウェアを残しておかなかったのが、エミュレータでは再現できないですが、それでも懐かしさが込み上げてきます。



Xcode のプロジェクト画面

## 【開発環境】

Xcode 1.1

Interface Builder 2.4 (v349)

The X Window System X11 1.0 - XFree86 4.3.0

gimp 1.2.4-11 The GNU Image Manipulation Program

gimp2 2.0.0-2 The GNU Image Manipulation Program 2.0

sodipodi 0.34-11 Gnome vector graphics application

EGWORD 13

## 【参考文献】

[Apple Developer Documentation](#)

<file:///Developer/Documentation/index.html>

[Cocoa Documentation](#)

<file:///Developer/Documentation/Cocoa/Cocoa.html>

[Cocoa Reference Documentation](#)

<file:///Developer/Documentation/Cocoa/Reference-date.html>

[Application Kit Reference for Objective-C](#)

[file:///Developer/Documentation/Cocoa/Reference/ApplicationKit/ObjC\\_classic/index.html#//apple\\_ref/doc/uid/20001093](file:///Developer/Documentation/Cocoa/Reference/ApplicationKit/ObjC_classic/index.html#//apple_ref/doc/uid/20001093)

[Foundation Reference for Objective-C](#)

[file:///Developer/Documentation/Cocoa/Reference/Foundation/ObjC\\_classic/index.html#/apple\\_ref/doc/uid/20001091](file:///Developer/Documentation/Cocoa/Reference/Foundation/ObjC_classic/index.html#/apple_ref/doc/uid/20001091)

**【メール】**

御意見、感想はこちらまで。

小山 嘉昭  
KOYAMA Yoshiaki

[koyama-@za2.so-net.ne.jp](mailto:koyama-@za2.so-net.ne.jp)  
[yos\\_koyama@mac.com](mailto:yos_koyama@mac.com)

Yoshiaki's HomePage  
<http://koyama-cool.ne.jp/>  
<http://www001.upp.so-net.ne.jp/koyama-/>